

## SAFETY DATA SHEET (安全データシート)

PRO LASH®  
EYELASH EXTENSION

## 1. 製品及び会社情報

製品名 ACE PLUS  
整理番号 G015/G016/G021  
会社名 株式会社 RadiAct  
住所 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-13-6 IS ビル 9 号棟 6 階 TEL : 03-6408-5031

推奨用途及び使用上の制限 : 金属類、ゴム類、プラスチック類及び木材類等の瞬間接着用。  
但し難接着剤 (PE、PP、シリコンなど) 用には単独では使用できない。

## 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物  
混合物化学名又は一般名 : 2-シアノアクリル酸エチル、エチル-2-シアノアクリレート

成分	化学式	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法・労安法)	含有量 (wt%)
エチル-2-シアノアクリレート	CH <sub>2</sub> =C(CN)-COOC <sub>2</sub> H <sub>5</sub>	7085-85-0	(2)-2789	非公開
PMMA	非公開	非公開	非公開	非公開
顔料	非公開	非公開	非公開	非公開
溶剤	非公開	非公開	非公開	非公開
安定剤他	非公開	非公開	非公開	非公開

注) PMMA・顔料・安定剤他 は PRTR 法・労安法・毒劇法に該当しない

注) 内容成分の配合比率・生成・分散液などについては、企業秘密

## 3. 取り扱い及び保管上の注意

技術的対策 : 火気注意  
皮膚を瞬間に強力に接着するため、使用に際して十分に注意すること。  
接着剤の硬化物が靴底につくと滑りやすくなるので注意する。

注意事項 : 臭気が滞留しないように局所排気装置の設置、全体換気を適正に行うことが望ましい。

安全取り扱い注意事項 : 塩基性物質と接触しないように取り扱う。

適切な保管条件 : 塩基性物質との混在を避け、湿気の少ない冷暗所に保管する。  
その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定める事に従う。

安全な容器包装材料 : ポリエチレン製容器を使用すること。

## 4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、保湿して安静に保つ。速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 無理に剥がさず、お湯の中でゆっくり揉み解しながら剥がすこと。又は専用の剥がし液や溶剤 (アセトン) を使用する。

目に入った場合 : 清浄な水で最低 15 分間洗浄した後、すぐに医師の診断を受ける。目をこすったり、剥がし液やアセトンなどの溶剤は、絶対に使用しないこと。

飲み込んだ場合 : ただちに、医師の手当てを受ける。

予想される急性症状及び遅発性症状並びに最も重要な兆候及び症状 : 皮膚の発赤、軽度の火傷、眼の痛み、かすみ眼、涙目、重度の火傷、気道の痛み、咳、息苦しさ、嘔吐、頭痛

応急処置を要する者の保護 : 被災者を救助する場合は、活性炭入り簡易マスク、送気マスクなどを装着する。

医師に対する特別注意事項 : 接着剤を皮膚などから急に剥がさないようにすること。目に入った場合は、特に注意すること。(角膜を損傷する可能性がある)

## 5. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 一度に多量の接着剤を拭き取らない。布などに接着剤が多量に染み込むと急速に重合し、発熱し、刺激の有る白煙を上げることがある。その際、皮膚に接触すると火傷を起こす。

環境に対する注意事項 : 流出した商品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。  
刺激性が強いため周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な処置を行う。

除去方法 : ポリエチレン製手袋を着用し、布などで素早く少量ずつ拭き取る。

## 6. 危険有害性の要約

皮膚に付着したままにすると炎症を起こす場合がある。蒸気を吸入すると、目、鼻、のどなどの粘膜を刺激する可能性がある。

最重要危険有害性 : 蒸気を吸入すると、目、鼻、のど等の粘膜を刺激する。

有害性 : 蒸気を吸入すると、目、鼻、のど等の粘膜を刺激する。

環境影響 : 現在のところ知見なし。

物理的及び化学的危険性 : 水や塩基性物質に接触した時、並びに、布、皮などの、染み込みやすい物に多量に付着したときに重合し、かなり発熱する。その際、皮膚に接触すると火傷を起こす。

### 【GHS 分類】

物理化学的危険性

引火性液体	区分 4
自然発火性液体	区分外
金属腐食性物質	区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない

### 【GHS ラベル要素】

絵表示またはシンボル

感嘆符



注意喚起語

警告

危険性有害性情報

可燃性液体

注意書き

保護手袋（ポリエチレン製）/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。

粉塵/煙などの吸入を避けること。

火災の際は粉末消火薬剤等を使用すること。

皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断を受けること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させること。

取り扱い後は手を洗うこと。施錠して保管すること。

その他パッケージ記載の注意書きをよく読み、理解するまで取り扱わないこと。

## 7. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂

火災時の特有の危険有害性 : 当該製品は、「分子中に N」を含有している為、燃焼ガスには一酸化炭素などの他、窒素化合物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙を吸引しないように注意する。

特定の消火方法 : 付近の着火源を断ち、保護具を着用して消火する。

消火を行う者の保護 : 消火作業の際には呼吸用保護具を着用する。消火作業は風上から行う。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 局所排気装置などの換気設備を設置する。

管理濃度 : 未設定

許容濃度 : 日本産業衛生学会 (2006 年度版) 未設定

ACGIH-TLV (2007 年度版) 0.2ppm(ICSC,2001)

保護具

呼吸の保護具 : 作業用簡易マスクを着用する。

手の保護具 : ポリエチレン製手袋を着用する。

目の保護具 : 側板付き普通メガネ、ゴーグル型メガネなどを必ず着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じポリエチレン製前掛けなどを着用する。

## 9. 安定性及び反応性

安定性 : 高温・高湿・直射日光により、発熱を伴い、急速に重合する事がある。

反応性 : 水や塩基性化合物との接触、混入により、反応する。

避けるべき条件 : 湿気、火気、直射日光、高温

危険有害な分解生成物 : データなし

## 10. 環境影響情報

水性環境有害性（急性） : 知見なし

水性環境有害性（慢性） : 知見なし

## 11. 廃棄場の注意

「取り扱い及び保管上の注意」の記載による他、引火性液体に関する一般的な注意事項による。

廃棄する場合は、液を少量ずつ直射日光に当てるか、又は大量の水の中に徐々に滴下しながら重合、固化させて、廃プラスチックとして許可を受けた専門業者に処分委託する。

## 12. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 : 液体

色 : 黒色

臭い : 特有の刺激臭

pH : 4~6

物理的状态が変化する特有の温度/湿度範囲

沸点 : 190℃以上

凝固点 : -29.5℃

比重 : 0.9~1.1 (25℃)

引火点 : 75℃ (ICSC,2001)

発火点 : 485℃

爆発特性

蒸気圧 : 1 Pa 以下 (25℃)

密度 : 0.9~1.1

蒸気速度 : 知見なし

溶解性（水） : 不溶

オクタノール/水分分配係数 : 知見なし

分解温度 : 知見なし

## 13. 有害性情報

急性毒性（経口） : エチル-2-シアノアクリレート 区分外

急性毒性（吸入：蒸気） : データなし

皮膚腐食性/刺激性 : エチル-2-シアノアクリレート 区分 2

眼に対する重篤な損傷/刺激性 : エチル-2-シアノアクリレート 区分 2B

皮膚感受性 : エチル-2-シアノアクリレート 区分 1

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : データなし

生殖毒性 : データなし

標的臓器/全身毒性（単回暴露） : エチル-2-シアノアクリレート 区分 3

標的臓器/全身毒性（反復暴露） : エチル-2-シアノアクリレート 分類できない

## 14. 輸送上の注意

注意事項 : 容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。取扱い及び保管上注意の項の記載による他、引火性液体に関する一般的な注意事項に従うこと。火気厳禁とする。

国内規則

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全放法に定められている運送方法に従う。

航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

国連分類 : 分類基準に該当しない。

国連番号 : 分類基準に該当しない。

IMO : 該当しない。

IATA : 該当しない。

## 15. 適用法令

消防法

危険物第 4 類第 3 石油類 危険等級 III（非水溶性液体）(2000L)

化学物質管理促進法（PRTR 法）、毒劇法

該当しない。

労働安全衛生法

第 57 条の 2 第 1 項（通知対象物 ヒドロキノン 政令番号第 461 号）

## 16. その他の情報

引用文献

製品評価技術基盤機構（NITE）GHS 分類データベース（利用者判断）

H19.12.25 パブリックコメントの検討に基づく三省 GHS 分類見直し（ヒドロキノン）

国際簡潔評価文書（CICAD）

国際化学物質安全性カード（ICSC）

太田和夫：高分子加工・別冊 7,19、63-91（1970）

社団法人日本化学協業協会発行「製品安全データシートの作成指針」改訂 2 版 GHS 対応ガイドライン

## 17. その他の記載事項

- ・記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価には、いかなる保障もなすものではありません。又記載事項は通常の取扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
- ・全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さい。
- ・この情報は新しい知見及び試験、法令の改正などにより改正されることがあります。
- ・以前に取得された本製品の安全データシートをお持ちの場合は、すみやかに破棄して下さい。